

議会 だより

平成27年
第4回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

「第4回定例会」が12月3日から9日まで7日間の日程で開かれました。この議会では、条例案など9件、人事案件4件、議員発議の意見書4件、合計17議案について審議を行い、一般質問では7名の議員が質問を行いました。

議案概要



《可決した案件》

○平成27年度田原本町一般会計補正予算(第3号)の専決処分の報告(全員賛成)

観光ステーション「磯城の里」移転に係る商工会への補助金で、改修工事及び移転時期の関係で増額補正し専決処分するもの

○平成27年度田原本町一般会計補正予算(第4号)(全員賛成)

自立支援介護・訓練等給付費負担金、障害者施設整備、老人ホームの整備補助等に要する経費、耕作者集積協力金及び経営改善・発展に取り組む経営体に対する補助金を増額補正するもの

○平成27年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(全員賛成)

平成26年度療養給付費等の精算に

伴う国庫支出金等の返納のため、増額補正をするもの

○平成27年度田原本町介護保険特別会計補正予算(第1号)(全員賛成)
平成26年度介護給付費等の精算に伴う国庫支出金等の返納のため、増額補正をするもの

○田原本町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例(賛成多数)

番号制度の実施に伴い、個人番号の利用及び特定個人情報提供等について定めるもの
○田原本町税条例の一部を改正する条例(賛成多数)

平成27年度の国の税制改正により、平成28年以降に施行になる部分について所要の改正をするもので、主な内容は、徴収の猶予及び差押え物件の換価(物件を金銭に換えること)の猶予制度の具体的な申請手続の規定、たばこ税の紙巻たばこ3級品の

軽減税率の廃止、番号制度の実施に伴う町税の申請書類への記載事項に個人番号及び法人番号の追加及び減免申請書の提出期限を延長するもの
○田原本町国民健康保険条例の一部を改正する条例(賛成多数)

国民健康保険税の減免申請期限について所要の改正を行うとともに、番号制度の実施に伴い、減免申請書の記載事項に個人番号を加える改正を行うもの

○田原本町介護保険条例の一部を改正する条例(賛成多数)
番号制度の実施に伴い、保険料の減免申請書等の記載事項に個人番号を加える改正を行うもの
○田原本町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例(全員)

賛成)

共済年金が厚生年金に統合されたことに伴い、関連する諸政令の規定整備を受け所要の改正を行うもの

《適任とした人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて

氏名 辰巳雅朗氏
任期 平成28年7月1日から平成31年6月30日

《同意した人事案件》

○公平委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて
氏名 福井良充氏、上田善康氏
任期 平成27年12月22日から平成31年12月21日

《採択とした意見書の概要》

第4回定例会で採択された意見書は以下のとおりで、関係団体へ提出しました。

意見書	提出議員
災害ボランティア割引制度の実現を求める意見書(全員賛成)	森井基容議員
ブラッドパッチ療法の保険適用および脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書(全員賛成)	古立憲昭議員
こども医療費無料化と国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティをやめることを求める意見書(賛成多数)	吉田容工議員

《不採択とした意見書の概要》

意見書	提出議員
冤罪をなくすための刑事裁判における捜査機関所持証拠の全面開示を求める意見書(賛成少数)	吉田容工議員

○固定資産評価審査委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて

氏名 山口利昭氏

任期 平成27年12月24日から平成30年12月23日

○教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて

氏名 田部井紀美子氏

任期 平成27年12月22日から平成31年12月21日

編集委員会では、限られた紙面で、より見やすく分かり易い「議会だより」編集に取り組んでおり、今回より各議案の採決結果を掲載しています。

各委員会審査の状況 (質疑から抜粋)

《総務文教委員会》

質問 田原本町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例について、対象事務に児童手当等の手続きの項目は無いのは何故か。また、申請書に個人番号の記載を拒んだ場合はどうなるのか。

回答 児童手当等は番号法により規

定されている事務にあたるので、条例に規定する必要は無く、町独自事業に係る事務について今回条例で規定する。

申請書への個人番号の記載を拒まれる場合、十分に説明し理解を求め、それでもなお頑なに拒まれる場合でも、そのことのみをもって受付を拒むことは不相当と考える。

質問 田原本町税条例の一部を改正する条例について、たばこ税の紙巻たばこ3級品の軽減税率の廃止により、どれ位の増収を見込んでいるか。

回答 段階的な軽減税率の廃止となり、過去の実績から、来年度については年数十万程度の増収を見込んでいる。

経過報告 「中学校給食の早期実施を求める請願」を受けて、「田原本町中学校給食検討委員会」を、これまで4回開催し、実施方式や学校での運営方法が検討され、今年度中に検討委員会から答申書が出される旨の報告を受けた。本委員会は早期実施に向けた更なる取り組みを求めた。

《厚生建設委員会》

質問 平成27年度田原本町一般会計補正予算(第3号)の専決処分報告について、観光ステーション「磯城の里」の引越しによりスペースが広くなるが、どのような活用を考え

ているか。また、田原本駅からの「磯城の里」までの案内表示についてどのように考えているか。

回答 利用可能な面積が従前の約1・6倍程度の面積となるため、来訪者にゆとりの空間を提供できるよう商工会へ提案を行っている。

案内表示については、駅前広場からもわかりやすく、駅構内の案内については近鉄にも協力をお願いし、来訪者にわかりやすい案内表示の設置を検討していきたい。

質問 平成27年度田原本町一般会計補正予算(第4号)、障害者施設整備補助金について、事業所が健全に経営されているか、運営が適切であるかを町は把握しているのか。全国的に虐待等不適切な運営が問題となっているケースが聞かれる。町は事業所への指導・監督についてどう取り組むのか。

回答 障害福祉サービス事業所として県と連携し指導監査を行っている。適切な運営のため関係機関、事業所との連絡を密にし、運営状況の把握に努め、適宜協議・指導を行っている。

《唐古鍵遺跡整備検討特別委員会》

担当課から報告 唐古・鍵遺跡整備工事の進捗状況について、体験・学習ゾーンの第1期公園整備工事を10

月30日に完了した旨の報告を受けた。完了した第1期公園整備工事の部分についてコナラ、クヌギ、ヤマザクラなどの植栽や張り芝などを行う工事の契約及び唐古池の西側約2000平方メートルを第2期公園整備工事として、二次造成、園路及び唐古池の池柵の整備などを行う工事の契約を結んだ旨の報告を受けた。10月5日、楼閣の西側辺りにおいて、北小学校の6年生を対象として弥生時代の大型建物の柱を建てる等の体験学習を行った旨の報告を受けた。

《清掃工場建設検討特別委員会》

担当課から報告 やまと広域環境衛生事務組合が施工中の新焼却施設建設については、工場棟、管理棟エリアの地下部、一部工場棟エリアの上部躯体工事に着手され計画どおりであり、町施工の中継施設建設については平成27年11月末に無事竣工し、平成29年4月の本格稼働に支障なく対応できるよう管理に努めるとの報告を受けた。

審議内容を見ることができません

町ホームページに、本会議の審議内容を掲載しています。

※平成19年第1回臨時会から平成27年第2回臨時会まで掲載しています。

町政を問う



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

辻 一夫 議長

12月5日、定例会々期中に町長が酒気帯び運転で逮捕されるという不祥事が起こりました。議会では、町政に遅れが生じ住民生活に支障が生じないことを配慮し会期日程どおり会議を行うことと致しましたこと、ご理解よろしくお願い申し上げます。

この議会日よりが発行される2月には、町長並びに欠員となっておりました議会議員が選出されていることと思えます。選挙後は新町長のもとで町政がスタートされることになり、議会といたしましても新町長、新議員と共に町政発展に尽力してまいる所存でありますのでよろしくお願ひ申し上げます。

阪東 吉三郎 議員

町は、安定した雇用の創出、人口減少対策、結婚・出産・子育ての希望をかなえることなど、安心・安全

な町づくりのため「田原本町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定中です。その進捗状況について一般質問を行いました。専門の推進委員会に加え、若手職員によるワークショップや課長級職員による部会等でも協議・検討を行い平成28年3月に策定するとの答弁を得ました。次に凍結・結露防止カーブミラーが冬季の交通安全には必要と考え、設置の状況、町の方針について質問し、必要に応じて新設、交換を行なうとの答弁を得ました。

森井 基容 議員

本定例会において、「災害ボランティア割引制度の実現を求める意見書」を提出させていただきました。

本意見書は、大規模災害発災後に欠かすことのできない存在である災害ボランティアについて、必要人数が集まらない現状があり、大きな理由のひとつとして、「旅費がなく行きたいが行けない」との費用の自己負担の実情が調査等でも明らかになっていることから、国に対し、被災地に赴く災害ボランティアに対して交通費や宿泊費を割り引く等の負担軽減の制度創設を求めるものです。

意見書は全員賛成で可決され関係機関に提出されました。

安田 喜代一 議員

マイナンバー通知カードが昨年中に全世帯に発送され、今年の1月から、社会保障・税・災害対策の分野で利用されます。先の9月定例会でもマイナンバー制度に関連した条例改正があり、本定例会においても、個人番号の情報保護のため行政手続きの取り扱いに関する条例改正を行い、個人番号の必要となる事務において、適正な取り扱いを定めるという内容でありました。

また、人権擁護委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会及び教育委員会の各委員の人事案件がありました。各委員の皆様にはご苦勞をお掛けしますが宜しくお願いいたします。

森 良子 議員

一般質問にて、安倍政権の社会保障改革が進められている中、国は長期の治療が必要な方の病床を30万削減する方針を打ち出し、県としてもベッド削減を協議していると聞いている。私は生活相談者の実態を知り「転院や自宅療養を迫られ困っている方のサポートはどうするのか」と質問。答弁は「今年度から3年計画で『医療介護連携調整実証事業』への参加や『在宅医療・介護の連携会議』を立ち上げて、ルールづくりを

行っているところ」ということでした。住民本位の介護総合計画をめざして欲しいものです。

古立 憲昭 議員

一般質問にて①「地方創生戦略の作成の経過について」今後本町が取り組む目標・施策の基礎となる総合戦略の概要を問う②「地方創生と教育力について」地方創生の鍵は人材、将来を担う人材をいかに育てるか、この観点から「教育力」を問う③「災害廃棄物処理計画について」大規模自然災害時発生する膨大なごみやがれきの対応により、復旧作業に大幅な遅延を生じさせない為、重要とされる処理計画の策定を問う、以上3点の答弁を求めた。

「ブラッドパッチ療法の保険適用および脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書」を全員賛成で可決。

西川 六男 議員

来年度予算の作成に向け、次の提案をし、

①待機児童の解消を！②「私立保育園の定員を見直し、平成30年度までに認定こども園を開設し、待機児童ゼロを確保する」③中学校給食を1日も早く実施を！④「基本計画を作り、経費を計上し、町長に示す」⑤地震に弱く老朽化した幼稚園の耐震

工事にお金をかけるよりは新築を！
答「耐震補強工事と改修工事を行う。新築は考えていない」④ T P P の大筋合意を受け、町の対策を！特に農業の生産基盤の整備を！答「国費事業・町改良事業に取り組み、農地の大区画化・水利施設の長寿命化に取り組む」との答弁を得ました。

竹邑 利文 議員

中学校給食については、早期実現に向け努力を求めた。

明日の前途ある子ども達の為に睡眠教育について質問し、健康の保持増進から疾病予防まで、食事、運動休養及び睡眠の調和の取れた生活習慣の重要性、健康管理の基本を学ぶ教育の推進に努めると答弁を得た。

自転車乗車時、児童のヘルメット着用の重要性について質問し、児童への指導徹底、保護者への啓発等町全体で交通安全対策に取り組むとの答弁を得た。

女性職員の部課長級の管理職の登用について質問し、女性職員が活躍できる職場の環境づくりの推進に努めると答弁を得た。

吉田 容工 議員

一般質問で、宮古保育園を訪ねて、保育の計画を見せて欲しいとお願いしたが、見せてもらえなかった。何

故見せられないのか？の質問に、住民福祉部長は、ホームページで公表しているという答弁。載っているのは「標語」のようなものだけ。また、保護者の方が「園庭で遊ばせてほしい」と嘆願したところ、「不快に感じております」という文書が配られた。「子どもの成長の喜びを共有する関係を保護者と築けているのか？」の質問に、「連絡帳、随時面談で関係づくりに努めている」と答弁。保護者が安心できる保育を提供するよう町に求めた。

植田 昌孝 議員

今期定例会中、町長が起こした飲酒運転事件は決して許されることではありません。しかし寺田町長の今までの行政運営については評価するところは十分あった事を思うと残念でなりません。私自身、本件を重く受け止めいっそう襟を正し、議員の責務を深く自覚し、使命を果たしてゆく所存です。

厚生建設委員会では、9月定例会で承認された補助金による介護施設建設に関して地元自治会からの要望について質問しました。議会への説明が不十分であったことを指摘し、現在の状況、今後の対応について説明を求め、地域の皆さんに理解を得るよう求めました。

松本 美也子 議員

一般質問にて、1.「安心・安全のまちづくり」のための対策強化について①腐食や損壊等による事故防止のために、本町所管の案内板、警察所管の道路交通標識の点検と対策について②「こども110番の家」の設置場所の見直し、総点検について③集落を結ぶ道路等の防犯灯における本町の設置・管理責任について④我が家の防犯と共に、地域全体で防犯に取り組む、「二戸一灯」運動の実施等について⑤学校敷地内及び周辺通学路における防犯カメラの設置についての5点と、2. 通院の医療費助成を中学校卒業まで拡充することについて質問しました。

小走 善秀 議員

厚生建設委員会にて①初めての人も田原本駅から迷うことなく観光案内所を利用できる様、おもてなし看板や案内板の設置を要望。②多地区で実績のある機構集積協力金事業（農地を貸し付けた所有者に1反2万円の補助）を農業の集約化効率化のため町全域に広める施策を要望。「冤罪をなくすための刑事裁判に証拠の全面開示を求める意見書」について、冤罪はあってはならないことであるが、証拠全面開示によって、

後難を恐れ被害申告や捜査協力者が少なくなり事件解決が難しくなり治安の悪化を招く事等、弊害が大きい事から反対討論を行い否決となった。

吉川 博一 議員

唐古鍵遺跡整備検討特別委員会にて史跡公園整備の状況・経過等について報告を受けました。

平成27年度末で唐古池南側の整備工事・植栽工事及び池柵整備工事が完了する予定で、平成28年度で同池西側が整備予定です。また、去る10月5日に北小学校の6年生を対象に、弥生時代の大型建物の説明、立柱体験、石斧体験、柱の牽引等の体験学習を実施した旨の報告を受け、今後体験学習等の事業を考えていきたいとのことでありました。体験学習については好評のお声を頂いており、郷土の歴史に興味を持つきっかけ、郷土愛の育成に繋がると期待しています。



問い合わせ先
議会事務局 (☎ 34・2119)